

# 成果報告書執筆の手引き

東京大学物性研究所大型計算機室

<center@issp.u-tokyo.ac.jp>

## 1. 成果報告について

共同利用にて申請課題が採択された方には、利用期間終了後に成果報告として研究成果報告書、及び公表論文等リストの提出をお願いしています。（Aクラスの場合は、提出の必要はありません。）皆様からいただいた成果報告は、稼働統計情報などとあわせて年に一度発行する「ISSP Supercomputer Activity Report」（英文）として公開しております。みなさまからの成果報告は、物性研究所が全国共同利用として計算資源を提供し続ける根拠、及び、今後どのような計算資源、サービスを提供していくべきかを検討する貴重な資料となりますので、是非ご協力をお願いいたします。

## 2. 研究成果報告書

申請課題ごとに研究成果報告書の提出をお願いいたします。ただし、継続する課題の場合は、複数課題をまとめても構いません。A4 サイズで1ページないし2ページ、英文にて執筆してください。記入事項、及びフォーマットは以下の通りです。

- 1) 他の文献から文章，図，表を転載する場合は，著作権法を遵守してください。
- 2) PDF ファイルで提出して下さい。
- 3) A4 の用紙サイズで，上下左右に 3cm 程度の余白を取って下さい。
- 4) Title は 1 column，ゴシック（もしくは bold:太字）、センタリング
- 5) AUTHOR (大文字)，Afflication (Italic) は 1 column、センタリング
- 6) 本文は 2 column で均等割付
- 7) Reference は Journal of the Physical Society of Japan の引用形式に従っ

て下さい。

LaTeX、及び Microsoft Word のテンプレートを用意いたしましたが、上記のフォーマットに従った PDF ファイル形式で提出していただければ作成ソフトは問いません。

### 3. 記載内容について

申請した課題について、スーパーコンピュータシステムを利用してどのような成果が得られたか、特にどのように計算資源を利用したかに重点を置いて簡潔に記載してください。計算手法の工夫(アルゴリズム、並列化、チューニング技術を含む)などがあれば、それらを記述してください。

### 4. 提出方法について

報告書は PDF ファイルに変換の上、公表論文リスト（テキストファイル）とともにウェブサーバにアップロードしてください。アップロードするウェブサーバの URL は、課題代表者宛にメールにてお知らせいたします。PDF 作成に問題があるなどの場合に限り、郵送による提出を受け付けます。その際は以下の宛先まで郵送してください。

〒277-8581 千葉県柏市柏の葉 5-1-5

東京大学物性研究所 大型計算機室

### 5. 著作権について

研究成果報告書の著作権は以下のように取り扱います。あらかじめご了承ください。

- 1) 提出していただいた成果報告書の著作権は東京大学物性研究所（以下、「本研究所」という）に帰属することにします。
- 2) 成果報告書は本研究所のウェブにて公開します。その際、レイアウト等の軽微な変更をすることがあります。

- 3) 著作者は、アクティビティレポートに掲載された自分の成果報告書の全部または一部を営利目的で著者自身が利用する場合には、本研究所に連絡し、出所明示をすれば利用することができるものとします。なお、非営利目的でウェブに公開する場合には、出展の明示をすれば本研究所への連絡は必要ありません。
- 4) アクティビティレポートに掲載された成果報告書の全部または一部を他の出版物に転載し、翻訳し、あるいはその他の利用をしようとする場合は、本研究所の承認を得、またその成果報告書がアクティビティレポートに掲載されたものであることを明記しなければなりません。

以上。